

定期総会において

## 平成28年度の 事業計画が確定！

4月24日(日)、平成28年度の野木町国際交流協会の定期総会が出席者23名、委任状16名で、規約第14条に従い開催されました。

10時から開かれた総会は式次第に従い、池田会長の挨拶から始まり、当協会名誉会長である真瀬町長より来賓あいさつを頂戴しました。

議事に入り平成27年度の実業報告と決算報告が拍手で承認された後、平成28年度の実業報告と予算案の説明があり、質疑応答を経て本年度予算(769,000円)が成立した次第です。

すでに会員の皆さんには事前に総会資料を送付してありますので、詳細はそちらをご覧くださいと思います。予算が成立しましたので、今年度の主な事業計画を改めて会員の皆さんにお知らせし、積極的な事業参加をお願いしたいと役員一同願っている次第です。

### 〈28年度の主な事業計画〉

#### 事業部より

日本語の先生急募！事業部山田まで

- ☆外国人のための日本語教室(春・秋・冬コース)
- ☆ポルトガル教室(初級)7月・8月
- ☆外国人子弟の夏期講習及び補習 9月から
- ☆料理教室(ブラジル編)8月

#### 情報交流部より

◇公民館との協働講座 新たに2講座新設！

- ・「英語の絵本による読み聞かせ」講座 7月予定
  - ・「英会話による文化財案内ボランティアガイド養成講座」10月予定
- } 詳細は追ってお知らせします

◇昨年に引き続き「大人のための世界史講座」も今年度春・秋2回シリーズで開講します！

- ・春期は「歴史から紐解く“中国”の原像」  
6/21(火)・6/28(火) 中国を理解する第1歩を学びます
- ・秋期は「なぜ、再び世界大戦が起きたのか？ー第2次大戦前夜ー」11月に予定



# 創立 20 周年記念を祝う会

## 盛会のうちに終わる！



昨 27 年度は当協会創立 20 年目ということもあり、役員会では 1 年を通して議論を重ね取り組んできました。お陰さまで、記念誌『きずな』の発刊と創立 20 周年記念を祝う会を 3 月 20 日（日）に公民館において和やかに行われ、盛会のうちに 20 年の節目を締めくくることができました。上記の記事は下野新聞 4 月 2 日（土）県南版に掲載されたものです。

### 野木町煉瓦窯グランド・オープン(5/10)を記念して

## 5/15(日)国際交流協会として模擬店を出店予定

国史跡に指定された旧シモレン煉瓦窯が修復工事も終わり、交流センターのホフマン館の開館とともに、いよいよ 5 月 10 日（火）にグランド・オープンしますが、それにとまっておこなわれるイベントに当協会も模擬店という形で参加します。今回は協会の活動パネルとあわせハラル食品の菓子類を中心に販売する予定です。是非、煉瓦窯の見学とあわせ、お立ち寄りください。また、この機会にぜひ短時間でも結構ですから“販売”のお手伝いをお願いします。楽しくやりましょう！！

### 乞う、ご期待！

#### **今夏、国際交流ツアーを企画中！**

創立 20 周年記念事業の一環としてカンボジア支援活動をしているNPO法人「インドシナ難民の明日を考える会」の協力を得て、今年の夏のツアー実施に向け計画を進めています。詳細は 5 月末までにお知らせできると思いますが、井戸を寄贈したトラペアンルーン村の訪問とアンコール遺跡群の解説付き見学を目玉と考えています。みなさんのご参加を期待しています。

次回の役員会は 5 月 13 日（金）

午後 2 時より公民館第 1 会議室にて

（事務局 関根記）

#### カンボジア井戸支援

**募金 93,232円集まる！**

二年間にわたり、町民のみなさんから募金やカンボジア民芸品の購入、食品の購入を通じて支援いただいた成果が 9 万円を超える募金として集まりました。3基の井戸が作られる予定です。

ありがとうございました。